

令和7年度 事務事業評価シート（１）

[令和6年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	青少年センター図書室運営				事業番号	038-070	
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援	部	地域教育振興	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～		施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実		
			有	取組の方向性	⑥生涯学習の推進					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに		ターゲット	4.7		
			有	取組	生涯を通じた学びの支援					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画			—						
3	事業開始年度			昭和 57 年度		点検対象年度		令和 7 年度		
4	実施根拠			・図書室の使用は、使用の許可・使用料等に関する除き、堺市立青少年センター等の設置及び管理に関する条例及び堺市立青少年センター等の設置及び管理に関する条例施行規則に準ずる。 ・図書室の運営は、堺市立図書館管理運営規則及び堺市立図書館各種要綱・基準等に準ずる。						

事業の概要

5	事業の実施主体			本庁					
6	事業の対象			図書室の周辺地域の住民をはじめとする堺市民等				対象数	単位
								約81万	人
7	事業の目的			図書情報サービスを提供することにより、青少年をはじめ、広く市民の読書活動及び生涯学習の支援を図る。					
8	事業内容			「図書館情報ネットワークシステム」を利用して一体的・効率的な図書の貸出・返却を行っている。また、これまでに知らなかった、関心のなかった本に目を向けてもらう工夫として、ブックフェアを年間6回実施している。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容			—					
9	主な支出先			—					
10	公民連携・協働事業			—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
	年間個人貸出者数	人		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
			目標値	25,000	25,000	25,000	25,000
			実績値	24,685	23,793		
	達成率	99%	95%				
当該指標を選定した理由		図書貸出が主要業務であることから、図書室の事業効果・活動実績を測定するに当たり、年間個人貸出者数が適しているため。					
目標値の設定根拠・算出方法		前年度実績から設定					
12	活動指標	単位		実績		目標	
	利用者からのレファレンス・問合せ件数	件		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			目標値	2,100	2,100	2,100	
			実績値	1,607	1,493		
	達成率	77%	71%				
	当該指標を選定した理由		利用者からのレファレンス・問合せには、利用者に対する本に関する情報の提供が含まれており、その内容を精査することで、その件数の増加ひいては個人貸出者数の増加につながるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		前年度実績から設定					

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	青少年センター図書室運営	事業番号	038-070
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	11,351	11,707	13,350	13,855	14,577
	財 源					
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	11,351	11,707	13,350	13,855	14,577
14	人件費（b）	10,560	10,960	10,900	10,900	10,080
15	年間経費（c）=（a）+（b）	21,911	22,667	24,250	24,755	24,657

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	R7				R6	R7		
16	事業費内訳	会計年度任用職員報酬		9,068	9,068	青少年センター施設維持管理費等 負担金	312		312	312
				9,337	9,337		504		504	504
		期末勤勉手当（会計年度任用職員）		3,304	3,304					
				3,570	3,570					
		費用弁償		744	744					
				748	748					
		消耗品費		345	345					
				322	322					
		通信運搬費		82	82					
				96	96					

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和5年度	令和6年度
17	① 年間個人貸出者数	人	24,685	23,793
	② 上記①にかかる年間経費	千円	22,667	24,754
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	918	1,040
	算出についての説明等	—		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	レファレンス件数は減少しているが、ホームページにおいてブックフェア等の情報発信を積極的に行ったこと、市民の興味を惹くよう入口付近におすすめ本コーナーを設置したことにより、年間個人貸出者数はほぼ同数となった。また、給与改定による人件費の増加にもかかわらず、それ以外の経費の抑制に努めたことで、単位当たり経費の急激な増加を抑えることができた。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	・広く市民の読書活動及び生涯学習の支援を図るため、レファレンスサービスの充実に努めている。 ・図書館職員が中央図書館主催の研修を積極的に受講し、それぞれのスキルアップを図ることにより、利用者サービスの向上に努めている。 ・ブックフェアの実施やおすすめ本コーナーの設置等、様々なジャンルの本に興味を持ってもらうための行事や取組を行っており、とりわけ、こどもたちの興味をひくような展示物を設置し、図書室に親しみをもってもらえるよう、青少年向け雑誌やコミックを配架し、利用機会の増加促進に努めている。 ・情報発信や利用機会促進のための取組を実施し、利用者サービスの向上に努めたことにより、青少年をはじめ、広く市民の読書活動及び生涯学習の支援を図ることに寄与した。
----	--